



早いもので、今年も残すところあと1月半を切りました。と、自分で書いてみてびっくり。農閑期に入って、ようやく少しゆとりが出てきた今日この頃。稲刈りもワラ集めも終わったO2Farmが何をしているかを少しご紹介しますね。

稲刈りが終わった田んぼでは、「ひこばえ」といって、切り株から新しい茎葉が伸びて実を結びます。年貢の取立てが厳しかった時代、温かい地方ではこの実まで収穫していたそうです。寒い阿蘇地方ではこの「ひこばえ」という言葉すらなかったそうです！ここでも最近の農業体系の変化や地球温暖化の事実が伝わってきます。

おあしす米を作っている我が家では、アイガモが逃げないように、それから外敵にやられないように、と田んぼに張り巡らせていたネットを片付けます。片付けのときに手を抜くと、来年また使うときにタイヘン。泥を軽く落としてからきれいに巻いておけば、来年ネットを張るときにやりやすいというわけです。



去年も作った「ワラこづみ」というものを耕太が作りました。稲わらを束ねて積み重ね、保存しておきます。牛のエサにしたり、菜園で利用したり、結構便利なアイテムです。去年は仲間たちと一緒にワイワイ作ったのですが、今年は一人で黙々と。ただ積んでいけばよいように見えるこのワラ小積み、けっこうコツがいるようです。なんと全国大会もあると聞いて驚いています！屋根をかけることで雨が当たっても大丈夫なつくりになるのですが、その屋根つくりを手こずっていたところ、お隣のおじいちゃんが見かねて手伝ってくれました。草鞋を編んだり、縄をなったりするやり方も知っている80歳を過ぎたおじいちゃん。今のうちに色々教わっておかなければ。道路から見えるかわいらしいワラ小積み。我が家のキッチンからも良く見えます。秋の風景、なかなかオツです。



冬が近づいて来たとはいえ、O2Farmはまだまだにぎやか。カキが色づき、シイタケが生え出し、ダイズも収穫しました。サトイモ、ヤマイモ、キクイモ、ヤーコン、ユズなどの収穫が待っているのと、もちろんタカナの種も蒔きました。大根や小松菜類の種まき、そして来年収穫する玉ねぎの定植などなど。ハウスの中では、まだミニトマトやピーマン、シシトウ、冬瓜が成っています。しかし今年は暖かいせいでしょうか、虫の勢いがすごい！白菜が骨だけになってしまいました。出荷するにはやはり相当農薬を散布したり、何か対策を打たなければ、スーパーに並ぶような「きれいな」葉モノ野菜にはなりません。自家用でつつい放っておいてしまうので、私たちだけでは頼りにならないと知っているばあちゃん。

腰が痛い、頭が痛いとはばやきながらも自分の菜園はしっかり作っているからスゴイ。まだまだ元気です。



それから今年もまた「タイのカボチャ」が獲れました。去年もお届けしたので、覚えていらっしゃる方もいるかもしれませんが、何しろタイの皇女様から直接いただいた種です。（詳しくはウェブサイトの資料室をご覧ください。）ほったらかしで、ジャングルのような畑になっていたにもかかわらず、立派な実をたくさんつけてくれました。日本のカボチャに比べると甘みが少ないので、煮付けには向かないのですが、ポタージュスープやカレーなどに入れるとけっこういけます。ハロウィンに合わせて、耕太が傷ついたカボチャの中身をくりぬいてランタンをつくりました。ロウソクを入れるとやわらかい光を放ちながら、しばらくすると焼けたカボチャの匂いを漂わせてくれる、素敵なランタンでした。



これから益々寒くなっていきますが、皆さまどうぞお風邪など召されませんようお気をつけください。



※※※※～12月の配達日変更のお知らせ～※※※※
農閑期などを利用して通訳や調査の仕事もしているコータ&エリですが、今年も仕事が入り思い切って家族でドイツへ行くことになりました。今回は「環境保全型農業」についての調査と通訳をし、その後ドイツの友人に息子たちを紹介してきたいと思っています。12月16日には出発しなければなりませんので、誠に勝手ながら12月の発送を3日ほど早めさせていただきます。ご注文量の変更やキャンセルなどございましたら、12月13日までにお知らせいただけますよう、お願いいたします。こちらの都合で配達日がずれることとお詫び申し上げます。到着日や時間帯の指定も可能ですので、そちらのサービスもご利用下さい。年末年始、お忙しいとは思いますが、どうぞわが家の出稼ぎにもご理解を頂きますよう、お願い申し上げます。